

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和7年 3月31日

事業所名:放課後等デイにじいる

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		学習スペース、余暇活動ルーム、クールダウンルームで分かれている。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○			ただし、介助が必要な利用者が複数いる場合は十分とは言えない。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			構造化をしながら動線を考え、定期的な見直しを実施。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		業務日報に貼り付け意識を高めている。	時間を設け、部署間で共有することになっている。改善に至るまでにやや時間がかかることが課題。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		評価表のみでなく面談で聞き取り実施。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		実地指導や第三者評価機関の結果に基づき改善。	できていないところを明示する必要あり。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		部署内研修、法人研修への参加。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		より具体的な支援計画を立てるため、毎日の活動・課題記録をデータに残す。行動分析表も含む。	指導員みなが共通の認識を持ち、児童一人ひとりの変化に気付く。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		自立課題・ASD・行動障がい等其々のアセスメントシートを作成。	現場指導員も使用しながら、担当利用者のアセスメントを実施していく。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		プログラムを毎月保護者に配布。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		個別活動、グループ活動を日々検討。	何らかの活動に参加できるよう柔軟に対応できる力。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		個別活動、集団活動(療育)を時間割で実施。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎日朝礼で確認。前日の振り返りも同様。	指導員間の声掛け。(現場支援時)
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		業務日報にも記載をし、緊急性の高い案件が出た際はケース会議を実施。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		5領域に沿ったケース記録の記載。	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		最低半年に一度のモニタリング・保護者面談。面談にはいつでも応じられる。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○				

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		地域小学校との情報共有は蜜に行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				対象児なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		情報共有の場あり。訪問や電話でのやり取り実施。移行シートの依頼	気軽に見学や体験に来られるようなシステム作り。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		今年度はなし。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		公園や図書館などで交流あり。	イベントの開催。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		こども部会の設置、開催。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡ノートの活用。送迎時の際の伝達。懇談の実施。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	個別で相談があったときのみ実施。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		いつでも懇談や電話で対応できることを伝達している。	保護者によっては一人で抱え込んでいる場合があるかもしれないことを考え支援する。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		1か月に一回発行。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っているか	○			

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		令和6年4月に策定	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2回～3回実施。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか				現在該当者なし。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		令和6年4月に作成。	